

## 学校評価アンケート結果まとめく令和7年度・第2回実施分>

### ◎生徒への質問

	質問内容
1	学校生活に楽しみややりがいをもっている。
2	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができた。
3	授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。
4	授業でiタブを活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりすることができた。
5	私は、家で自分で計画を立て勉強している。
6	私は、学校の授業以外で、普段（月曜から金曜日）1日あたり30分以上読書をしている。
7	私は、学校生活の中で、自分からあいさつしている。
8	授業に複数の先生がいたり、少人数で授業を行ったりすることで、質問しやすい
9	学校・学年・学級はいじめの未然防止の取組を行っている。
10	私は、福祉活動（花植作業や除草作業、奉仕活動）に進んで取り組んでいる。
11	私は、行事に積極的に取り組んでいる。
12	私は、学校や地域をよくするために何かしてみたいと思う。
13	道徳の授業では、人間の在り方や人生をよりよく生きることなどについて考えを深めている。
14	先生は、悩みがあったときや、問題があったときに相談しやすい。
15	私は、学校生活の約束事を守っている。
16	私は、当たり前のことが当たり前にできる。
17	私の学級では、学級生活をよりよくするために、互いの意見の良さを生かして解決方法を考えている。
18	給食をとおして、健康的な食生活や栄養について関心が高まっている。
19	私は、自分の進路について考えている。
20	私は、家庭でのインターネット閲覧や、SNS等に使用する時間は3時間以内である。
21	私は、災害時の対応を考えている。

### ◎保護者への質問

	質問内容
1	お子様は、学校生活に楽しみややりがいを持っている。
2	お子様は、授業にしっかり取り組んでいる。
3	お子様は、授業などでiタブ（1人1台端末）等のICT機器を活用している。
4	お子様は、家庭で自ら進んで学習に取り組んでいる。
5	お子様は、読書の習慣がある。
6	お子様は、あいさつや礼儀をきちんとしている。
7	お子様は、授業に複数の先生がいたり、少人数で授業を行ったりすることで、質問しやすくなっている。
8	学校は、いじめの未然防止の取り組みを行い、いじめが発生したときは速やかに対応している。
9	お子様は、福祉教育活動（花植え作業や除草作業、奉仕活動）に進んで取り組んでいる。
10	お子様は、学校行事において達成感や自己有用感を高めることができている。
11	学校は、生徒に悩みがあったときや、問題が起きたときに相談しやすい。
12	お子様は、学校生活の約束事を守っている。
13	学校は、生徒が当たり前のことが当たり前にできるように生徒指導を行っている。
14	学校は、学級での話し合い活動や係活動の活性化を図り、生徒間の望ましい人間関係の構築に努めている。
15	学校は、学校給食を基本とした食育を推進し、食の大切さを理解させている。
16	学校は、計画的に進路指導を行っている。
17	お子様は、家庭でのインターネット閲覧や、SNS等に使用する時間は3時間以内である。
18	学校は、防災教育を推進し、生徒の防災意識の向上を図っている。

※回答は「そう思う」「おおよそそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択式。

本集計では便宜上、「そう思う」→「肯定的」

「おおよそそう思う」→「やや肯定的」

「あまりそう思わない」→「やや要改善」

「そう思わない」→「要改善」

と表記する。

## 生徒回答合計（161）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	29.6%	57.4%	9.3%	3.7%
Q2	36.4%	55.6%	3.7%	4.3%
Q3	43.2%	47.5%	8.0%	1.2%
Q4	50.0%	41.4%	7.4%	1.2%
Q5	18.5%	35.2%	28.4%	17.9%
Q6	14.8%	17.9%	20.4%	46.9%
Q7	29.6%	48.8%	16.0%	5.6%
Q8	26.5%	43.2%	16.7%	13.6%
Q9	25.9%	56.8%	14.8%	2.5%
Q10	30.9%	35.2%	24.7%	9.3%
Q11	45.7%	43.2%	8.6%	2.5%
Q12	22.2%	46.9%	24.1%	6.8%
Q13	35.8%	54.9%	6.8%	2.5%
Q14	27.8%	45.1%	15.4%	11.7%
Q15	40.1%	52.5%	4.9%	2.5%
Q16	27.8%	55.6%	11.1%	5.6%
Q17	27.2%	60.5%	10.5%	1.9%
Q18	32.7%	44.4%	16.0%	6.8%
Q19	45.1%	37.7%	11.1%	6.2%
Q20	24.1%	29.0%	22.2%	24.7%
Q21	27.2%	48.8%	17.3%	6.8%

## 生徒アンケート結果より

質問項目ごとの「肯定的傾向」（肯定的・やや肯定的）の割合が80%に達している項目が11項目あり（前期結果+3）、生徒の学校生活に対する満足度の高まりを感じられます。特に、授業に関する質問項目1～4において数値が高いことから、授業に対する充実感や意欲的な取組の継続が分かります。また、質問項目16、17の上昇傾向が見られ、落ち着いて学校生活を送っていることが読み取れます。その反面、「肯定的傾向」の割合が60%に達していない3つの項目が、前期の結果、保護者アンケートの結果と同様に生徒の「自主・自律」に関係していることが分かりました。これらの点を踏まえ、以下のことについて取り組んでまいります。

### ○目標をもって家庭学習に取り組む姿勢、生活設計ができる力を高める取組

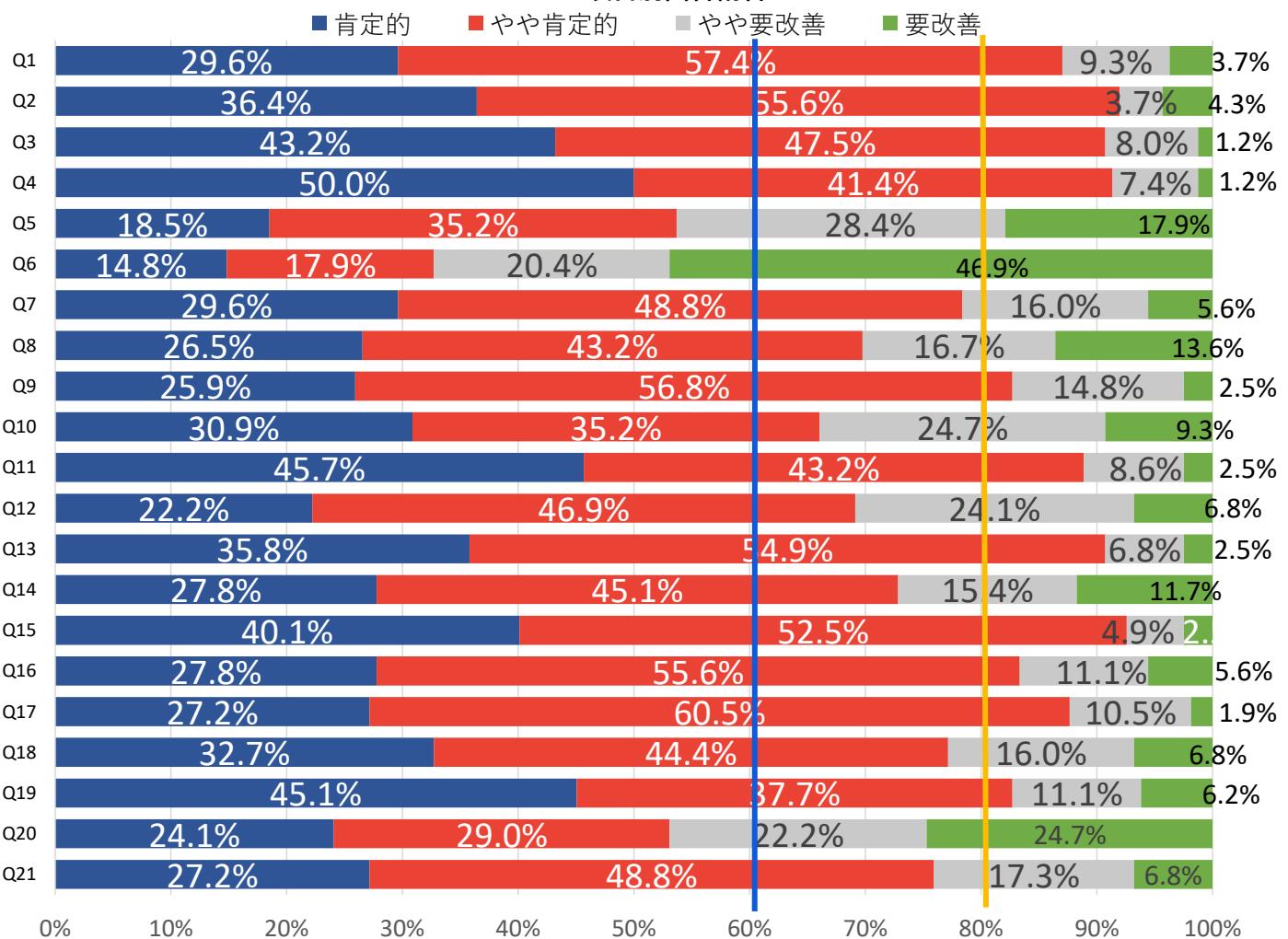
質問項目5「自分で計画して勉強する」、質問項目6「読書の時間」、質問項目20「インターネットやSNSに費やす時間」において引き続き課題が見られる数値となりました。学校は、学びの見通しを示し、家庭学習の仕方にに関する例示を行うことで、生徒が目標に向かって自発的に学習に取り組むよう改善に取り組んでいます。読書に関しても、身近な場所に図書を置くことや、展示紹介による啓発の取組を継続していきます。また、AIドリルを活用することで、生徒が自身の学習状況について自己理解を深める機会を設けていきます。それと同時に、家庭でのデジタル端末にかかる時間の使い方について、学校と家庭で共通理解を図れるようにし、連携して確認を行うことも必要を感じています。

### ○生徒の自発的な活動機会の設定についての取組

質問項目10や12の数値から生徒は、自ら進んで学校行事や福祉活動、ボランティア活動に取り組んだ実感が薄いことが分かります。生徒会を中心とした校内における活動だけでなく、対外的な地域ボランティア組織として動き始めた北中アルカスの活動を

## 学校評価アンケート結果（対象：全学年生徒）

### 項目別回答割合



保護者回答合計（105）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	29.5%	50.5%	13.3%	6.7%
Q2	31.4%	54.3%	9.5%	4.8%
Q3	63.8%	31.4%	3.8%	1.0%
Q4	26.7%	33.3%	29.5%	10.5%
Q5	10.5%	10.5%	38.1%	41.0%
Q6	28.6%	58.1%	9.5%	3.8%
Q7	20.0%	50.5%	22.9%	6.7%
Q8	19.0%	60.0%	13.3%	7.6%
Q9	32.4%	44.8%	19.0%	3.8%
Q10	36.2%	42.9%	15.2%	5.7%
Q11	18.1%	56.2%	20.0%	5.7%
Q12	37.1%	54.3%	6.7%	1.9%
Q13	25.7%	55.2%	14.3%	4.8%
Q14	23.8%	58.1%	13.3%	4.8%
Q15	40.0%	49.5%	6.7%	3.8%
Q16	21.0%	55.2%	18.1%	5.7%
Q17	22.9%	29.5%	24.8%	22.9%
Q18	30.5%	57.1%	7.6%	4.8%

## 保護者アンケート結果より

9つの質問項目で「肯定的傾向」（肯定的・やや肯定的）の割合が合計80%に達していたことから、学校の多くの側面で保護者皆様から肯定的な評価を得ていることが示されました。ここから、学校の取り組みと成果が保護者の皆様にご理解いただけていることが分かります。一方で、前期の結果と同様に3つの質問項目において「肯定的傾向」が60%以下という結果も見られました。これらの点を踏まえ、今後の改善に向けて以下のことについて取り組んでまいります。

### ○明確な課題「生徒自身で家庭学習の習慣を含めた生活設計をする力の不足」

質問項目4において家庭学習の習慣が定着が弱いこと、質問項目5において読書の習慣が定着していないこと、質問項目17においてインターネットやSNSに費やす時間が長いことが示されました。こういった現状から、生徒が「時間を有効に活用する」ことを、学校で継続的に指導した上で、岩沼市が目指す「自立した学習者」となるために、学校と家庭で連携して取り組んでいかなければならないと考えます。

生徒に与えられた自由な時間の中で、その時間をどのように使うか見通しをもって計画を立てる力が必要であると考えます。デジタル端末に費やす時間が長いことで学習時間が確保できない、自身の興味・関心のある学びに手が届かない、定期考査前の生活の切り替えができないといったことに繋がっていると推察されます。情報モラルや使用のルールについて指導はしているものの、更に一步踏み込んだ啓発が必要かと感じています。また、家庭内でのルールの設定等、ご家庭の協力が必要なものもあります。

学校は多くの側面で肯定的な評価を受けておりますが、改善が必要な点も明らかになってます。これらの改善点に対する取り組みを通じて、保護者の皆様とのコミュニケーションを深め、質の高い教育環境を提供し教育内容を充実するように取り組んでいきます。

## 学校評価アンケート結果（対象：全学年保護者）

### 項目別回答割合

